

新しいモルタル通気工法のご提案です。

通断防工法のメリット

- POINT ① 壁体内の**通気性**アップ
- POINT ② **断熱効果**アップ
- POINT ③ **防水性能**アップ

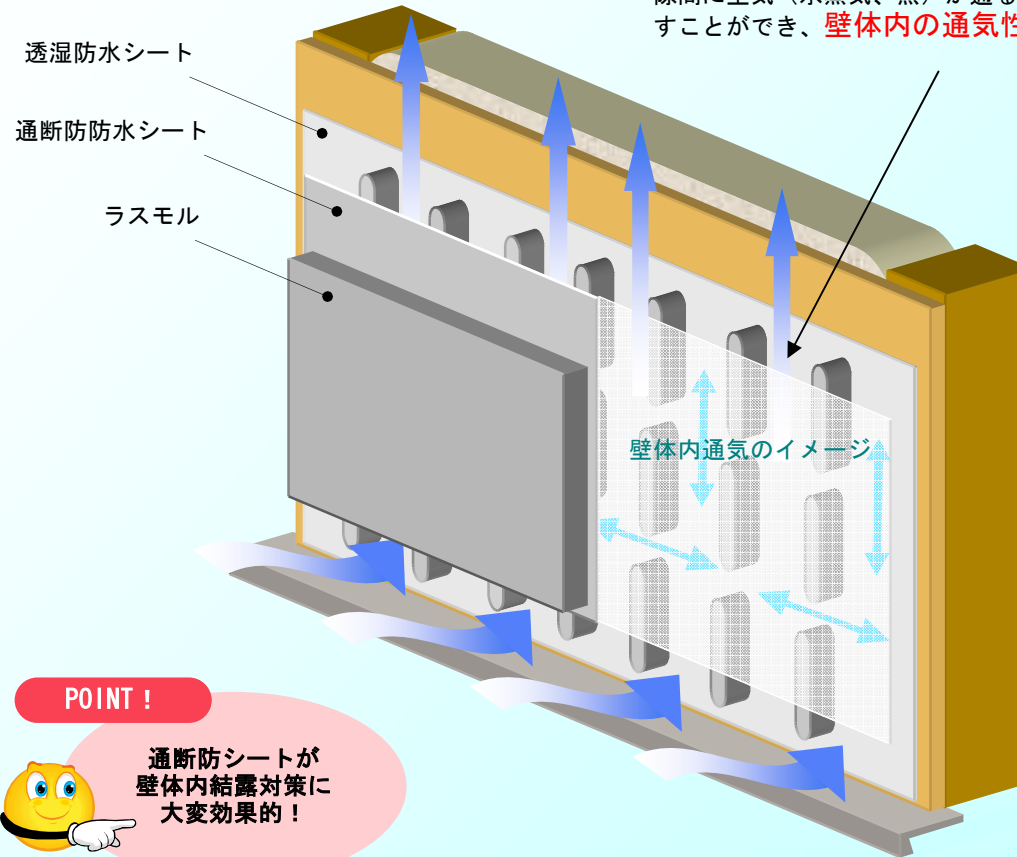
外壁に求められる**通気性・断熱性・防水性**を向上させる外壁モルタル工法です。

内部結露を防ぎ、建物の耐久性を向上させます

次世代型モルタル通気工法

ラスモル ノンクラック**通断防**® 工法

これまでの一般モルタル外壁工法（直張り工法）に通断防水シートを取り付けることで、躯体と外装材の隙間に空気（水蒸気、熱）が通るスペースを作り出すことができ、**壁体内の通気性が向上**します。

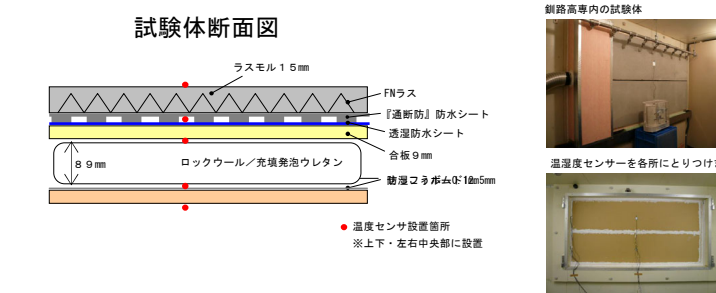
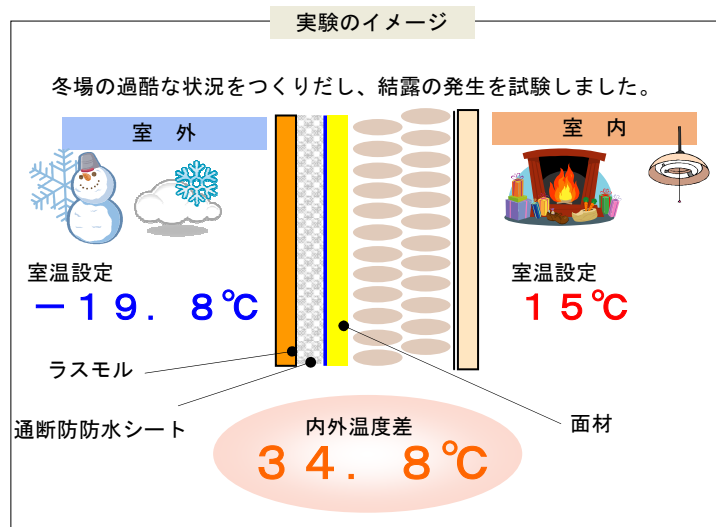


POINT !
 通断防シートが壁体内結露対策に大変効果的！

優れた**通気性能**

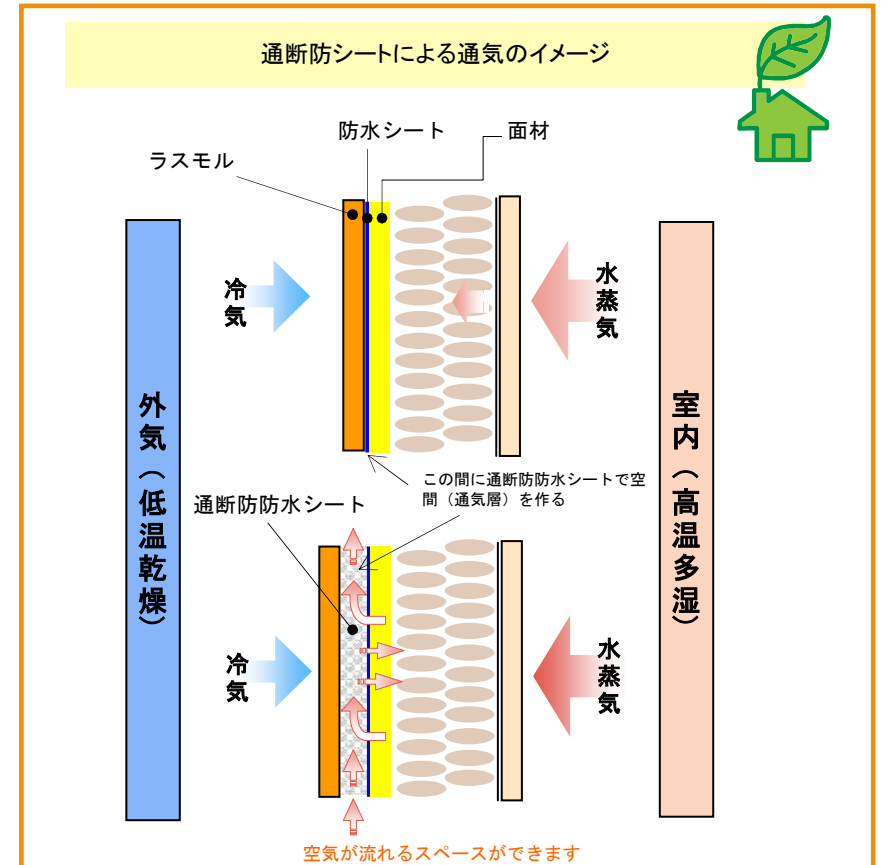
内部結露が発生するのを実験しました！

釧路高専の三森准教授の監修のもと、冬場の外気温、室内温を設定し試験をおこない、結露の発生を実験しました。



結果
 温度差 34.8°C の状況でも結露の発生は確認されなかったことから、通断防シートが壁体内の湿気の排出に有効であることが確認できました。

以下試験結果より抜粋
 『通断防』工法においてロックウール断熱材、充填発泡ウレタン断熱材を内部に充填した2種類の試験体で地域条件Ⅳ（関東地域）から地域条件Ⅰ（北海道地域）で結露試験を行った結果、試験体内部で湿度90%を上回る事はなかった。よって内部結露の発生は無いと考えられる。また、三森准教授（釧路工業高等専門学校）の試験体観測結果より、試験体のモルタルおよびせっこうボード表面にも結露の発生は見られなかった。

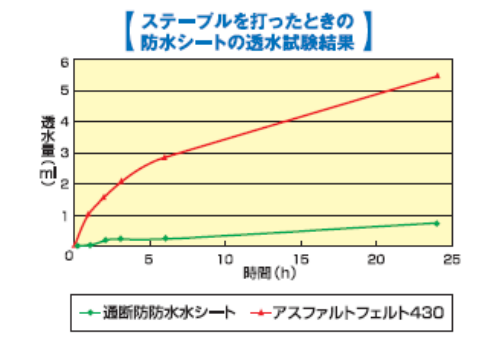


POINT !
 壁体内の内部結露は、カビの発生により、居住者へのアトピー等健康被害の原因となります。そのため、外装材と躯体（面材等）のあいだに空気の流れる隙間（空間）があることが望ましいのです。

優れた**防水性能**

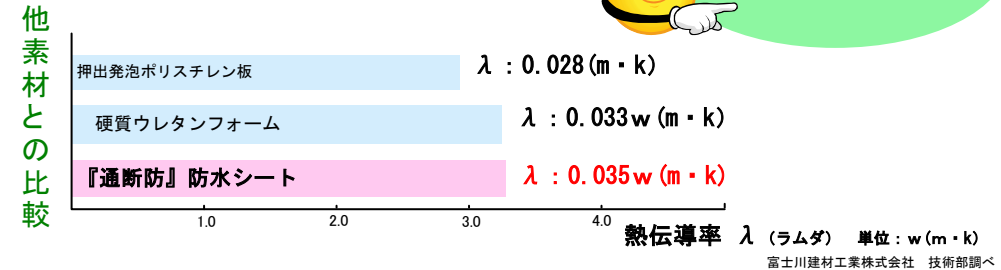
通断防水シート単体の防水性は下記のグラフの通り、防水性が非常に高いことが分かります。さらに、透湿防水シートと通断防水シートの併用でダブルの防水効果を発揮します。

POINT !
 通断防水シートと透湿防水シートのダブル防水！



優れた**断熱性能**

断熱性能はその素材がどのくらい熱を通すかを示す熱伝導率λ（ラムダ）の数値で比較できます。



POINT !
 高性能断熱専用素材と同等の断熱性能！

他素材との比較